

経営評価報告書[事業実績シート(各法人共通)]

(B)-1

1. 事業概要

事業名	研修・図書事業			
目的及び内容	県及び市町村の職員の専門知識、技術を習得させることを目的とした県土木部の研修事業を受託実施する。また、専門知識・技術向上のため、センター主催による県内の建設技術者及び地方公共団体の職員を対象とした研修を実施する。 公共事業を円滑に執行するため、公共土木工事の設計積算、施工及び監督業務等に使用する図書について、県・市町村及び民間事業者に販売する。			
目標(値)	①主催研修(開催回数18回、受講者数1,964人) ②受託研修(開催回数30回、受講者数981人)			
		H26年度	H27年度	H28年度
	目標値	2,350	2,290	2,633
	実績値	2,497	2,884	2,945

2. コスト等の推移

(単位:円)

区分	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(計画)
コスト	16,705,711	12,596,436	12,976,570	0
事業費	8,318,501	5,942,146	6,300,864	0
財源内訳	補助金・負担金			
	うち県分			
	受託料等	2,819,571	2,686,730	3,212,859
	うち県分	2,819,571	2,522,802	3,057,996
	(上記のうち指定管理料)			
	県が造成補助した運用財産の取崩収入			
	資産運用収入			
	使用料・入場料等	4,253,283	2,232,589	3,004,720
	借入金			
その他(上記以外)	1,245,647	1,022,827	83,285	
人件費	8,387,210	6,654,290	6,675,706	0
職員別内訳	役員、評議員	549,416	425,243	428,311
	正規職員、その他職員	7,837,794	6,229,047	6,247,395

3. 事業実績に対する評価等

指標に基づく評価	a	(評価の目安)	a: 目標を達成するとともに非常に効果があった b: かなり効果があった c: 効果が十分でなく手法を見直す必要がある d: 効果が出ておらず、事業そのものを見直す必要がある
説明	①当センターの主催研修は、県及び市町村の職員並びに建設業等に従事する職員に専門的知識・技術を習得させる専門機関としての役割を担っている。内容については、近年関心が高まっている社会インフラの維持に重点を置き、新規テーマも取り入れるなど受講者のニーズに即した内容となるように取り組んでいる。時代のニーズに合った、要望の多いテーマを採ること等により、過去最高であった前年度よりさらに150名多い、1,964名の受講者があった。 ②県土木部からの受託研修については、県、市町村の職員を対象に、30講座を開講し、前年度より1講座少なく981人の参加を得た。2つの研修を併せた受講者数は、2,945人であり大きく増加し各職員の専門知識や技術の習得に大きく寄与した。 ③5年毎に予定していた道路交通センサスはネット閲覧なり発刊中止となったため図書販売は行わなかった。		